

平成29年度  
盛岡情報ビジネス専門学校  
自己点検・評価委員会結果報告書

平成30年3月

平成29年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡情報ビジネス専門学校の自己点検・評価結果を公表致します。

平成30年3月

学校法人龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

### 1. 学校の教育目標

本校の教育理念である「社会の発展に貢献すべく、現代社会や産業界が求める人材の育成を行うことを目的とする。そのため、資格取得のみならず、社会的常識と教養を備え、明るく健康的で建設的な考え方をもち、社会人として求められる『積極性』『問題発見力』『実践力』を備えた『気づき、挑戦し続ける人材』の育成に努める。」に基づき、学生から社会人への移行がスムーズに行われるよう、様々な学習環境を提供する。

### 2. H29年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・企業連携や地域連携活動でより多くの外部との接点をもち、学生に様々な学習の機会を創出する。
- ・高度資格への合格、全国競技会・コンテストへの入賞等ならびにキャリア教育を通して、高いスキルと豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成し、上場企業をはじめとする優良企業への就職につなげる。
- ・学生募集において、本校の教育活動やその成果が正しく伝わるような情報発信に努める。

### 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は明確か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由と改善策	教育理念や教育目標、人材育成像等については、入学時のオリエンテーションにおいて全員で確認することはもちろん、学校HPへの掲載や校内掲示、学生の手引きへの掲載などでいつでも確認できるように工夫している。また、学校案内や募集要項にも掲載し、高校生や保護者、また高校教員等にも広く発信するよう努めている。	

#### (2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	3
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
評価理由と改善策	教育活動等に関する情報公開については、引き続き、シラバスならびにコマシラバスの整備を進めている。運営組織に関する様々な整備は、学校と法人との連携をさらにスムーズなものにしていきたい。情報システム化等による業務の効率化については、ペーパーレス化に向けた取り組みも含め、少しずつ整備が進んでいる。	

## (3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由と改善策	<p>専門分野やキャリア形成に向けた指導等、教員の指導力の向上に向けては積極的に外部研修へ参加し、研修参加後のフィードバック・情報共有を実施している。また、平成29年度には他県の専門学校教員による本校カリキュラムや学生成長に関する評価を実施いただき、高い評価を得ている。</p> <p>各種産業界の発展が目覚ましい現代の社会のニーズを踏まえた指導力を備えた教員の確保については、引き続き、関連企業・団体様との連携を深めながら優秀な人材の確保に努めていく。</p>	

## (4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	3
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
評価理由と改善策	<p>H29年度の就職率は100%を達成している。今後も、この高い就職率を維持向上させることはもちろん、学生一人ひとりのニーズや将来性を見越した就職活動を丁寧に支援していくことで、ミスマッチによる早期離職に繋がらない質の高い就職活動に導いていきたい。</p> <p>退学率については、昨年度よりは低減できたもののまだ退学者が出ている状況にある。明確な目標を持たずにいる学生に対して個別相談・指導を行うことや、経済的な事情を抱えている学生の保護者との連携など丁寧に対応していくことで、学生一人ひとりが自身のキャリア形成に前向きに取り組める環境の提供に努めたい。</p>	

## (5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由と改善策	これまで課題だった卒業生からの英語での文書(卒業証明書ならびに成績証明書等)発行については対応が可能となった。卒業生に対する再就職支援等の体制はこれまでもあったが、今後ニーズ調査を行いながら、技術的な講習会の開催も検討していきたい。	

## (6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、異文化理解等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
評価理由と改善策	施設・設備については、常に現代社会の情勢や未来を見据えながら教育上必要な環境を提供できるよう、継続的に検討していきたい。 防災に対する体制については、体制や規則、連絡網を整え、毎年避難訓練を実施している。非常時の備蓄などについては、引き続き対応策を検討していく。	

## (7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由と改善策	募集活動に際しては、教育理念や人材育成像、アドミッションポリシーについて理解・共感いただいた上で入学いただけるよう努めている。 教育成果については、活動内容だけの発信にならないよう目的や経過なども伝えることを意識して今後も行っていく。	

## (8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

## (8) 財務(つづき)

評価理由と改善策	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。
----------	--

## (9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由と改善策	個人情報の管理については、教職員のデータアクセスについて適正に管理している。今後も、定期的に教職員への研修を行い、個人情報保護の重要性を十分に理解させる取り組みを行っていく。	

## (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由と改善策	教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献については、3Dプリンター機器等の活用やSECCON等への教室貸し出し、インターネット安全教室の開催などを行っている他、外部連携授業を展開し、地元企業や個人へのWeb制作協力や業務用アプリケーション開発、地産商品へのラベル・ポスターデザインなど行っている。学生のボランティア活動の支援も本校独自またはグループ校と連携して様々な内容で行っており、地元商店街の活性化にも積極的に取り組んでいる。今後も、新たな取り組みに挑戦していきたい。	

## (11) 国際交流

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
評価理由と改善策	留学生の受け入れに関する戦略や国内外で評価させる取組みについては、引き続き、法人の担当部門と連携を図りながら留学生が安心して学べる環境の提供に努めていく。	

## 4. H29年度の総合的な自己点検評価結果と今後の目標

H29年度も、活発な地域連携活動や企業連携による学びの成果もあって、専門分野への高い就職率やコンテストでの上位入賞、Level3・Level4の情報処理国家資格取得者の輩出など、高い実績を収めることができた。入学時点で学生に備わっている社会性や彼らの中の常識が年々変化する中で、学生から社会人への移行をスムーズに行うためにも、様々な経験の場を提供し、学生の内発的な成長機会を増やしていくことの重要性は増すばかりである。今後も、学校自体が新しいことにチャレンジし続けていく姿勢を忘れずに教育にあたっていきたい。

平成29年度

盛岡情報ビジネス専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

平成 30 年 7 月 5 日

学校法人龍澤学館  
理事長 龍澤 正美

## 平成 29 年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡情報ビジネス専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を 6 月 27 日に実施いたしました。以下に、その内容についてご報告いたします。

今後は、各評価委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力してまいります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 1. 学校関係者評価委員名簿

氏名	所属	役職
飯岡 一臣	株式会社 I B C ソフトアルファ	システム本部システム三部部長
高橋 学	株式会社北日本銀行	人事部長
内村 豊	有限会社クリップ	代表取締役社長
尾田川 裕二	卒業生	
菊池 那紀	卒業生	
松島 理香子	盛岡情報ビジネス専門学校	副校長
伊藤 政幸	同校	事務局課長
及川 源太	同校	事務局

### 2. 委員会次第

- (1) 開会挨拶
- (2) 学校関係者評価委員会の趣旨・目的等に関する説明
- (3) 平成 29 年度自己点検・評価結果報告ならびに議論
- (4) 閉会

### 3. 議論内容

盛岡情報ビジネス専門学校の教育理念・目標と平成 29 年度に定めた重点目標と計画について副校長より説明した後、「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づき、各項目の達成状況や取り組み状況、改善策等について、外部専門委員の皆様と議論を行った。



#### (1) 教育理念・目標

昨年の委員会で外部専門委員から挙げた「原点に戻って、『挨拶ができる』や『正しい言葉遣いができる』などのマナー指導も継続して行って欲しい。」というご意見について、挨拶については、日々の学校生活を通じて指導する中で当たり前ができる学生が増えていき、お客様からも高い評価をいただいていることを共有した。言葉遣いについては、敬語の使い方のみならず、語彙力の低下が大きな課題であることを確認した上で、授業の中だけで指導しきれものではないことから、いかに大人社会に触れる機会を多く持たせられるか、また、普段から気づいた都度指導するなどの対応が大切になってくることを確認した。

#### (2) 学校運営

事業計画に沿って様々な整備を継続的に進めていることから、特に意見は出なかった。

#### (3) 教育活動

項目12の教員確保については、新たな取り組み等で指導の幅を広げていくことを考慮して、引き続き、高い専門スキルと人材育成に対する熱意のある人材の確保に努めることとした。

#### (4) 学修成果

昨年の委員会で「学生時代のうちに社会に対して深堀してみられるような力をつけさせて欲しい。」というご意見をいただいていたことから、授業の中でも議論する機会を多く設けるよう工夫をしていることを説明したところ、企業内での研修において行われているディスカッションテーマやそのねらい・効果等についても教えていただくことができた。テクニックとしての指導だけではなく、人間関係構築に必要な力を伸ばす上で大変参考になるお話であったことから、早速取り入れていくことを確認した。また、今の若者には「他者の話を鵜呑みにする」傾向や、「分からないことが怖いと考えている」傾向が見られることも課題として挙げられ、学生のうちに失敗も含めて多くの経験を積むことの重要性をあらためて確認した。さらに、社会人の中でも「自己理解が浅い人ほど仕事をやり切る意欲が低い傾向がみられる」というお話もご紹介いただき、自己理解やキャリアプランニングなどの指導も学生個々のレベルを見極めながら丁寧に行っていくことが、卒業後の活躍につながることを確認し、その指導レベルの向上に取り組むことを確認した。

#### (5) 学生支援

昨年の委員会で学生の健康管理について、「社会人にとって健康管理は大変重要なことであり、普段から『健康』を意識した生活ができるように指導をして欲しい。」や「メンタルヘルスの側面からもサポートしてあげて欲しい。」というご意見をいただいております、教職員で共有して睡眠や食事に関する指導に当たっているところではあったが、夜中のゲームのやり過ぎによる寝不足状態の学生は相変わらず数名いるのが現状であることを説明した上で、健康な生活習慣を身に付けるための指導・支援を継続していくことを確認した。また、メンタルヘルスの側面からのサポートについては、MCLグループ姉妹校とも連携して支援体制の構築を検討していることを説明してご賛同をいただいた。さらに、薬の副作用等で体調の不良を訴える場合もあることを踏まえて、慎重に指導する必要があるというアドバイスをいただくことができた。

#### (6) 教育環境

昨年の委員会で、「インターンシップは学生の希望に関わらず積極的に活用した方が良い」というアドバイスといただいており、現在では、2 学科を残して全員必須となっていることを説明した。また、残る 2 学科も現在の希望制から全員必須に移行する準備中であることを説明し、ご理解いただいた。

#### (7) 学生の受け入れ募集

学生募集活動について、教育理念や人材育成像、アドミッションポリシー等について理解・共感していただいた上で入学いただけるよう情報発信に努めていることや、高校生の数が減少している中において前年比で学生数が微増したことに感心いただき、特に意見は出なかった。

#### (8) 財務

既に適正に管理運営できていることから、特に意見は出なかった。

#### (9) 法令等の遵守

定期的な研修を実施するなど努めていることから、特に意見は出なかった。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

昨年に引き続き、活発な地域貢献活動の実施に高い評価をいただき、特に意見は出なかった。

#### (11) 国際交流

引き続き、法人本部の担当部門と連携しながら強化を図っていくことを確認した。

### 4. まとめ

今年の委員会でも、「(4) 学修成果」「(5) 学生支援」に関わる部分の議論が大半となった。社会人になる一步手前の教育機関となる専門学校の教育成果は、そのまま就職後の卒業生の活躍につながるものであることを再認識することができた。これからも、地域社会や企業等との連携を図りながら、健全な学校運営を行い、社会ニーズに即応できる人材の輩出や様々な実践経験を積める学習環境の提供を行う学校として進化し続けていけるよう、教職員一丸となって努めていくことを確認して閉会とした。